

# 中村哲医師講演会

2012年5月19日(土)

13:30~16:30

医者、井戸を掘る

アフガニスタンの地で

1人の医師が用水路建設をはじめ

—それは一つの医療行為であった—

## Profile 中村 哲 (なかむら てつ)

ペシャワール会現地代表：PMS(ピース・ジャパン・メディカル・サービス)総院長。1946年福岡県生まれ。九州大学医学部卒業。国内の病院勤務を経て、1984年パキスタン北西辺境州の州都ペシャワールのミッション病院ハンセン病棟に赴任しパキスタン人やアフガン難民のハンセン病治療を始める。その傍ら難民キャンプでアフガン難民の一般診療に携わる。1989年よりアフガニスタン国内へ活動を拡げ、山岳部医療過疎地でハンセン病や結核など貧困層に多い疾患の診療を開始。2000年からは早魘が厳しくなるアフガニスタンで飲料水・灌漑用井戸事業を始め、2003年から農村復興のため大がかりな水利事業に携わり現在に至る。

専門＝神経内科(現地では内科・外科もこなす)

主な著書に『ペシャワールにて』『ダラエ・ヌールへの道』『医は国境を越えて』『医者井戸を掘る』『辺境で診る辺境を見る』『アフガニスタンの診療所から』など

## Time Schedule

13:00～受付開始

13:30～開会・挨拶

13:40～中村医師講演

15:20～休憩

15:30～パネルディスカッション

中村医師、東医師、田村医師

16:00～質疑応答

16:30～終了



シギ村を貫通する主幹排水路の改修工事は管々と続けられている。すべてのガンベリの灌漑用水・集中豪雨の水が、ここに流れ込み、最終的にクナール河へ戻る。既存の村落を通るので、交渉を重ねながらの難工事。すでに開始から3年を経て、なお必死の努力が続けられている。一部報道に「灌漑計画終了」とあったが、悲しい誤報。即席に事が成るは紙上のみ。短気軽薄の気風、目に余りあり。亡国の兆し——と言いたいが、言葉は虚し。吠えても灌漑は進まない。

2011年6月20日中村医師の報告から

# 中村哲 医師講演会

日時

2012年5月19日(土) 13時30分～16時30分  
神戸市教育会館 大ホール

会場



アクセス

**参加費 無料!**

JR元町駅から徒歩8分  
市営地下鉄・県庁前駅より徒歩5分  
阪急三宮駅西口より徒歩15分



農村や下町に行けば、そこには殆ど昔と変わらぬ人々の生活がある。そして我々の活動も、これらの人々の涙や笑いと共にある。何世紀も営まれてきた人々の暮らしが、たかだか10年やそこいらのプロジェクトで変わるものではない。しかも、俗にいう「進歩」や「発展」が本当にこの人々の幸せにつながるかどうか、私は疑問に思っている。  
(著書『増補版ペシャワールにて』より)

## Information

下記のメールアドレスに『中村哲医師講演会参加希望』と件名を書いて、お名前・学校名・学年・学部・電話番号をご記入の上、送信してください。お電話・郵送での申し込みをしていただくこともできます。

兵庫県医連・医学生のホームページからもお申し込みが出来ます。URL : <http://www.hyogo-min.com/>

企画当日は事前申し込みのあった方からの、優先入場とさせていただきます。当日は混雑が予想されますのでお早めにお申し込みください。中村哲医師への質問も、受け付けます。お気軽にお問い合わせください。

申込

<お問い合わせ・お申込み連絡先>

兵庫県民主医療機関連合会 〒650-0047 神戸市中央区港島南町 5-3-7

TEL 078-303-7351 「中村哲医師 講演会」係

メールアドレス E-mail : [igakusei@hyogo-min.com](mailto:igakusei@hyogo-min.com)

